

令和5年度 第1回名寄市中小企業振興審議会会議録（要旨）

開催日 令和5年6月13日（火曜日）

開催場所 名寄市役所 名寄庁舎 4階大会議室

出席委員

審議会委員	会長	藤田健慈
	副会長	堀江英一
	委員	高橋能朗
	委員	多田和隆
	委員	千々石奈穂美
	委員	萬谷千絵
	委員	湯川珠代
	委員	中舘孝彰
	委員	木賀義友
	委員	鎌塚英明

名寄市	加藤	名寄市長
	山田	経済部長
	田畑	産業振興室長
	池田	産業振興課長
	木下	産業振興課主査
	大森	産業振興課主事

1 開会 14時00分

2 委嘱状交付

加藤市長より各委員へ委嘱状の交付

3 挨拶

【加藤市長】

今年度、審議委員の改選期を迎え、再任をご了承いただいた委員の方々、また、新たにお引き受けいただいた委員の方々には心よりお礼申し上げます。本審議会では、令和元年度から審議を重ね、昨年度全部改正及び支援メニューの見直しを行った名寄市中小企業振興条例や名寄市企業立地促進条例の全部改正など、市の条例や施策についてこれまで多くのご審議をいただいたことに厚く感謝申し上げます。新型コロナウイルス感染症の影響も落ち着きを見せ始め、5月8日には5類に移行されたところではありますが、同感染症が経済に

及ぼした影響は計り知れず、エネルギーや物価高騰等の新たな問題が中小企業を直撃している。本市では、少子高齢化に伴う生産年齢人口の減少による人手不足や経営者の高齢化・後継者不足による事業承継は、大きな課題となっている。本日の審議会においては、協議事項として人材確保の支援策についてご審議いただけることとなっており、本市の中小企業が抱える様々な課題を解決するためにも皆様から忌憚のないご意見を頂戴することをお願いし、開会にあたって私からの挨拶とさせていただきます。

4 正副会長選出・挨拶

事務局提案 会長藤田氏・副会長堀江氏

事務局案に対し異議なし

藤田会長・堀江副会長より挨拶

【藤田会長】

審議委員の皆様からも貴重なご意見等をいただき、昨年度、中小企業振興条例を改正することができた。様々な課題を抱えている名寄市の商工業だが、皆様と力を合わせて取り組んでいきたいので、ご協力をお願いします。

【堀江副会長】

名寄市では、まだまだ解決しなければならない課題がある。皆様からも課題解決に向けたご意見やアイデアを出していただき、素晴らしい審議会にしていきたい。

<加藤市長 公務につき退席>

5 報告事項

報告事項（１）（２）（３）（４）について事務局より説明

-----意見・質問なし-----

6 協議事項

【事務局】

協議事項（１）について事務局より人材確保策の参考事例の一つとして奨学金返還制度を説明。今回の協議事項として人材確保策について、委員の皆様から幅広いご意見をいただきたい。

【藤田会長】

総務省の奨学金返還支援制度は、名寄市はすぐにでも取り組むべきではないのか。早期に取り組まないと他の自治体も始めてからでは、優位性がなくなるのでは。

日本学生支援機構の代理返還制度は、労働者を企業に縛ることにではないか。

【萬谷委員】

名寄市立大学の各学部は、専門性が高い故に一定の職種でしか雇用が生まれない。奨学金返還に関する制度も大事だと思うが企業側としては、人材不足は喫緊の課題であり、即効性のある対策も必要と考える。

市外からの人材を確保（移住者）を考えた時に、街の雰囲気や居住環境等、移住者が抱える不安要素を取り除ける様な名寄という街が見えるPRも必要。

【千々石委員】

当業種は、昔からアルバイトの人材で支えられていた業界だが、年々アルバイトの人材確保が難しくなっており正社員の比率が高くなっている。

【萬谷委員】

小売りは利幅が少ないため、正社員比率が高いと厳しい。名寄市内のアルバイトを求める企業が連携して、アルバイト人材を共有出来るようなネットワークができると良いかもしれない。ただ、各企業への派遣やシフト管理を専任的に担う組織がないと難しい。

【中館委員】

経済が正常に回っているところには、人が集まってくる。一方、将来不安があるとことには、人は集まって来ない。若者は、そういった感覚が特に敏感であり、将来不安があるから名寄の若者は出ていく。奨学金をもらって将来設計描いて学んだあとに戻ろうとは思わない。経済が正常に回らない要因として、不当廉売等があるとすれば、行政の監視・指導を求めたい。

名寄には、委員の皆さんのような熱い経営者がこれだけ集まっている地域なので、経済が正常に回れば、若者は帰ってくる。

【萬谷委員】

都市部以外は、仕事がないという先入観を持たれているがそんな事はない。そういった先入観の排除も必要。

【湯川委員】

この春、息子が名寄に帰ってきたが、企業に挨拶回りをした際、「なぜ帰ってきたのか、帰ってこないほうがよかったのではないか」と多くの方に聞かれた。戻ってこないほうがいいと経営者が考える要因は何か。市内の家賃相場、人口規模から考えても高い。住居の確保は、人材確保においても重要な要素。

【萬谷委員】

市内には空き家も多いので世帯で移住してくる方には、空き家を提供してはどうか。

【高橋委員】

下川町は、多くの移住者が来ており宣伝も上手いのではないかと。名寄市のホームページ（トップページ）に移住者専門の項目を設ける等、移住促進にもっと注力してはどうか。

【中館委員】

人材確保については、各部署横断で取り組むのではなく、産業振興課がワンストップでコンシェルジュ的な立場で取り組んではどうか。徳島県三好市がサテライトオフィス誘致で実績を残しており、好事例として紹介したい。

【萬谷委員】

市外から世帯で移住してきた人物を採用した企業に補助金を支給する取組はどうか。

【木賀委員】

一度、市外に出ていった人も名寄に帰ってきている方や市内で就職している方はいると感じている。当社の経験則からいうと給与や条件面の問題だけではなく、我慢の出来ない・耐性のない若者が増えてきているのは事実。その中で当社の立場で言えば、毎年新卒を採用しているわけでもないのに奨学金返還制度については、全くマッチしていない。他社の状況はわからないが肌感覚としては、この制度が呼び水として、強力に人材不足の解決につながるのか疑問。

【事務局】

幅広い意見をいただいた。一方で、中小企業振興審議会の守備範囲を超えた議論もあり、庁内連携して対応していきたい。

-----その他意見なし-----

7 その他

-----報告事項・意見等なし-----

8 閉会

閉会の挨拶

【藤田会長】

活発な意見交換にご協力いただき感謝する。必要とする人材や課題は、各々の企業で違う。一つの方法で解決するものではなく、各自治体で様々な事例があると思うので研究していきたい。有効求人倍率からも名寄市の人材不足は喫緊の課題であり、早期での対策が必要不可欠と考えるので今後とも議論へご協力を願う。